

令和6年度事業報告書

I 法人の概要

1 学校名・課程

上板橋看護専門学校 看護専門課程 2年課程昼間定時制

光が丘福祉専門学校 介護福祉専門課程…令和7年4月1日開校準備

2 設立の目的等

教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、医療並びに福祉に貢献しうる有能な看護師または介護福祉士を育成することを目的とする。

(令和7年4月改定)

3 学校法人の沿革

平成20年12月25日 上板橋看護専門学校 看護師養成所指定

平成21年3月31日 学校法人設立認可

同年同日 上板橋看護専門学校設置認可

平成21年4月8日 開校式、第1回入学式開催

令和7年2月20日 光が丘福祉専門学校設置認可

令和7年3月4日 上板橋看護専門学校 第14回卒業式開催

令和7年3月24日 光が丘福祉専門学校 介護福祉士養成所指定

4 役員の概要

(1) 理事・監事

・理事	理事長	大畑隆郎			
	理事	大畑広次	、	理事	小出純
	理事	小泉洋子	、	理事	座間猛
	理事	益留裕二	、	理事	秋山秀史
					(以上7名)
・監事	監事	河原田清	、	監事	粕谷弘
					(以上2名)

(2) 評議員 18名

II 上板橋看護専門学校の事業概要

1 教育理念

設置主体である医療法人社団慈誠会の方神である「命を尊び、人間としての喜び、悲しみ、苦しみを感取り、人を愛し思ひやる心」を基本としている。このことを基盤として、人間形成の追求と地域社会に貢献し、国際社会に対応できる専門職業人として基礎的な知識、技術、態度を学び、看護実践に必要な統合力を身につける。

2 課程・学科の入学定員、学生数の状況(令和7年5月1日現在)

	定 員 数	現 員 数
・看護専門課程 看護学科	1 学年 40 名	86 名
	(総定員 120 名)	

3 教職員の概要

・専任教員 10 名	その他教員 38 名
・専任職員 3 名	その他職員 2 名

4 当該年度の事業概要

当校は、平成 21 年 3 月の設立以来、少子高齢化、医療の高度化に伴う保健医療社分野への社会の期待、要望に応えるため、また地域医療サービスの一端を担うため、働きながら就学する 2 年課程(定時制 3 年修業)の看護専門学校として、より質の高い看護師の育成をすすめている。

令和 6 年度は、学生在籍者 3 年生 27 名、2 年生 30 名、1 年生 29 名、合計 86 名（内前・後期休学 1 名）に対して、3 年生は従来のカリキュラム、1, 2 年生は改正カリキュラムに基づき所定の教科を修了した。

令和 7 年 3 月、第 14 回卒業式を行い、26 名が卒業し、24 名が第 114 回看護師国家試験に合格したが、残念ながら 2 名が不合格となった。合格率は 92.3%（全国新卒平均 95.9%、全体平均 90.9%）となり、全国新卒平均を下回る結果となった。既卒生は、受験者 4 名に対し合格者 2 名、既卒生を加えた全体では、30 名中 26 名が合格（合格率 86.7%）した。

広報・学生募集活動では、従来の活動に加えて、慈誠会グループ施設 MSW への協力依頼、光が丘準備室員による准看校訪問、TickTok 広告導入などを行った。結果、資料請求件数は 469 件(前年 441 件、+6.3%)で前年に比べて増加したが、学校個別見学・説明会参加者は 44 名(前年 49 名、△10%)と前年に比べ減少した。

また、入学試験については、推薦入試を従来の 2 回から 3 回へ増やし、一般入試 3 回と合わせて計 6 回、各回ともに自己推薦を導入して実施した。

しかし、受験者数は減少し、推薦入試合格者 7 名、自己推薦入試合格者 4 名、一般入試合格者 7 名、計 18 名を合格とした。令和 7 年度新入生は 18 名、前年の 27 名に対し 9 名減、定員 40 名に対し 45%と非常に厳しい結果なった。

5 令和 6 年度の履修単位（時間）

令和 7 年 3 月 31 日現在

学年		基礎分野	専門基礎分野	専門分野		計	教科外時間
				講義	実習		
1 年生 (16 期生) 新カリ	計画	5 (105)	6 (165)	15 (405)	0 (0)	26 (675)	68
	実施	5 (105)	6 (165)	15 (405)	0 (0)	26 (675)	64
2 年生 (15 期生) 新カリ	計画	1 (15)	7 (165)	14 (420)	4 (160)	26 (760)	70
	実施	1 (15)	7 (165)	14 (420)	4 (160)	26 (760)	70

学年		基礎分野	専門基礎分野	専門分野Ⅰ		専門分野Ⅱ		統合分野		計	教科外時間
				講義	実習	講義	実習	講義	実習		
3年生 (14期生) 旧カリ	計画	2 (60)	1 (15)	0	0	0	8 (360)	4 (120)	4 (180)	19 (735)	52
	実施	2 (60)	1 (15)	0	0	0	8 (360)	4 (120)	4 (180)	19 (735)	44

6 令和6年度の学生の動向

()内は男性で内数

学年	入学時期	年次	年度当初在籍者数			年度末在籍者			
			在籍	内訳		内訳			
				入学・ 進級生	過年度生	休学	退学	留年	卒業・ 修了生
14期生	R4年度	1年次	27(5)	26(5)	1(0)	1(0)	2(0)	0	24(5)
		2年次	27(5)	24(5)	3(0)	0	1(0)	1(0)	23(5)
		3年次	27(6)	23(5)	4(1)	0	0	0	26(5)
15期生	R5年度	1年次	33(5)	32(5)	1(0)	2(1)	2(0)	0	29(4)
		2年次	30(4)	29(4)	1(0)	0	0	0	29(4)
		*3年次	31(5)	29(4)	2(1)	0	—	—	—
16期生	R6年度	1年次	29(2)	27(1)	2(1)	1(1)	0	0	29(4)
		*2年次	28(1)	27(1)	1(0)	1(0)	—	—	—

注) *は、令和7年4月現在の在籍者数を表す。

尚、N期生の休学生、未修了生は、前年次に留まるため N+1 期生に換算する。

7 令和6年度 広報及び学生募集活動実績

- 1) 学校案内パンフレットの送付：全国准看護学校及び高等学校衛生看護科／JSK 内 MSW による学校案内チラシ配布依頼。
- 2) TickTok 広告導入（約3ヶ月／費用100万円）閲覧及び資料請求件数は増加したが、説明会来校や受験には繋がらなかった。
- 3) 学校説明会開催（年回）、見学・相談会（平日及び土曜日）開催、オンライン参加を併設して実施したが、参加者数は前年度から減少
- 4) 学校訪問：関東・福島、青森、九州・山口地区のエリアを絞って学校訪問
光が丘病院職員募集と連携した活動
- 5) 入学試験6回実施（推薦、一般各3回）および推薦受験の促進：（関東以遠）准看学校推薦者への旅費負担（受験時半額、入学時半額負担を継続）、自己推薦入試を6回ともに実施。
- 6) 厚生労働省「専門実践教育訓練制度」対象校として認定継続(16期生から適用可)
- 7) 文科省「高等教育修学支援制度(高等教育無償化)」対象校…認可継続

8 令和7年度生(第17期生)の入学状況

区 分	一学年 定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	備 考
総 数	40 名	20 名	19 名	18 名	18 名	
男子(再掲)	—	5 名	5 名	5 名	5 名	

9 第114回看護師国家試験受験結果

1) 当校の結果

区分	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率
新卒(13期生)	26 名	26 名	24 名	92.3%
既卒	—	4 名	2 名	50.0 %

<参考> 第114回看護師国家試験結果(全国) / 当校の全体合格率 90.1 %

区分	出願者数	受験者数	合格者数	合格率	全体合格率
新卒	56,415 名	56,035 名	53,718 名	95.9 %	90.1 % (87.8 %)
既卒	7,404 名	7,096 名	3,188 名	44.9 %	

2) 国家試験対策

- ① 国家試験対策担当(教員・学生委員)設置、チューター制による個別弱点克服指導
- ② 模擬試験は3年次に6回の業者模試、うち1回は大会場での受験を経験
- ③ 補講は、夏季・冬季 計187時間を計画し、160時間実施した。

10 学校評価 … 別紙参照

11 令和6年度の研修実施状況

研修項目	研修内容	
教育技法	《学習会》 教員各自の教育・学習指導上の検討会 ① 看護技術デモンストレーション ② 教材・教具の使用法や教材作成 ③ 改正カリキュラム概要勉強会	
	《トピックス》 ① 担当科目の学会参加 ② 学会参加者の報告会 ③ 特別講演；玉置 妙憂（看護師・僧侶） 「自分を変える～今より少し楽になるヒント～」 ④ 卒業講演；金子 仁久 講師（東京大学 病理標本室） 「自分を知ろう～Raison d'être～」	
臨地研修	看護の現場感覚を養う現場研修	1日～5日

IV 財務の概要

令和 6 年度の収支計算書は、上板橋看護専門学校に加え、令和 7 年度光が丘福祉専門学校開校へ向けた準備関連の費用を法人本部費用として計上している。詳細は、計算書内の内訳表に記載している。

上板橋看護専門学校については、学生数が前年に比べ微増(前年+4 名)となった一方、医療法人慈誠会からの寄付金は前年マイナス 10 百万円の 25 百万円となり、学生の大幅定員割れが続いていることから、経費削減を図りつつ厳しい運営状況となっている。

次年度繰越金は 16.0 百万円となり、前年度の本部立替分を除いた繰越金 15.6 百万円に対し微増となる。

光が丘福祉専門学校開設準備については、(医)慈誠会グループからの多額の寄付金 336 百万円によって、施設工事関係ほか設備・機器備品・図書等の支払、本部職員人件費、教育及び管理経費を支出し、次年度繰越金は 166.4 百万円となった。

学校法人の次年度繰越金は、当初予算 164 百万円に対して、補正予算において 185 百万と増額したが、決算値では 182.4 百万円となった。

令和 6 年度の資金収支計算書、事業活動収支計算書について、別紙をご確認ください。

・貸借対照表

光が丘福祉専門学校開設のための慈誠会グループからの多額の寄付金(336 百万円)を受け、貸借対照表は大きく資産増となった。

有形固定資産は、光が丘福祉専門学校の建物改修費(建設仮勘定)、機器備品・図書等の購入により、前年に比べ+123.5 百万円増の 853.6 百万円、また、流動資産の現金預金は、前年比 166.8 百万増の 182.5 百万円。資産の部合計は、1,036 百万円(前年+290 百万円)となる。

一方、固定負債は、KS パソコンリースの長期未払金が△1.3 百万円減少、流動負債については、前受金が前年比△15.8 百万円減少(前年度、建設仮勘定支払のために授業料を前受したために増加したが、令和 6 年度は例年同様のため)によって、負債の部合計は、17.9 百万円(前年△14.3 百万円)となった。

基本金は、133.3 百万円増の 1,190.2 百万円、繰越収支差額は、支出超過額が 171.3 百万円減少し、累計で △171.9 百万円となり、純資産の部は、1018.3 百万円(前年+304.6 百万円)となった。

・財産目録 … 別紙をご参照ください。